

富山国際大学子ども育成学部の教員養成に関する理念・構想

子ども育成学部では、保育・教育・福祉の3分野を幅広く学ぶことができる特色を生かした教育課程を編成し、地域に貢献できる人材を育成している。なお、卒業認定、学位授与に関する方針に明記された人間性、専門性、社会性を高め、教育・保育・福祉の3分野を幅広く学ぶことができるように、以下の三つの特色をもった教育課程を編成している。

- ①子どもの育ちとその環境を一体的に捉える、
- ②少人数できめの細かい実践的専門教育を推進する、
- ③「地域で学ぶ」「地域に学ぶ」「地域で育つ」ことを重視する。

授業科目は、教養科目と専門科目に大別され、体系的・系統的な理解が可能になるように編成しており、卒業した者には、学士(教育学)を授与している。

また、本学園は認定こども園(幼稚園型)・高等学校・短期大学・大学を擁する総合学園であり、平成21(2009)年度の子ども育成学部開設と同時に、幼稚園・小学校教員養成課程を発足させて以来、学園の組織内において教育実習や自主研修、キャリア支援等、必要に応じて交流し、地域の学校とも連携した教員養成に務めている。

富山国際大学子ども育成学部

【卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)】

子ども育成学部では、「次代を担う心身ともに健やかな子どもの育成を通して、地域社会の発展に貢献できる教育・保育・福祉の人材を養成すること」を、理念・目標に掲げる。このような理念・目標を踏まえて、所定の単位を修得し、以下の資質・能力を身につけたと認められる学生に、卒業を認定する。

1. 人間性の向上(DP1)

現代社会を生きる主体的な生活者として、また子ども育成を担う専門的職業人として必要な幅広い知識と教養を身につける。

2. 専門性の向上(DP2)

2-1. 教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力(DP2-1)

子どもの生活・発達の連続性と家庭・地域・社会環境との関係性について理解し、子ども育成の理念と専門的知識・技術、実践力を身につける。

2-2. 地域に生きる専門職としての資質・能力(DP2-2)

地域の特色ある教育・保育・福祉の実践に学び、地域に愛着と誇りをもち、地域に根づいた教育・保育・福祉の実践力を身につける。

3. 社会性の向上(DP3)

国や地域を越えた広い視野、人間信頼と共同連帯の精神をもち、生涯にわたって自己を高める努力を続けようとする意欲と態度を身につける。